

## 2009年 医療安全管理部この1年

医療安全管理部 岩井 照代

2009年の医療安全管理部の活動内容は、医療機能評価もあり、名寄市立総合病院医療安全指針の整備を行い、更新を行なった。内容としては、「指示・伝達のルール」、「救急カートの標準化」、「病理解剖説明書」、「ハイリスク薬の安全管理」を追加した。患者確認のポスターの掲示用を各部署に配布した。医療機能評価の受審を期に、マニュアルの浸透を図った。早くから取り組んだと思っていたが、結局ぎりぎりとなった事は、次回へ向けての反省点である。院内研修は11回6種類実施しました。参加率20%前後でまだまだである。感染では60%を超える参加率があることもあり、一考が必要である。さらに病院医療機能評価でもあったように、研修に参加できなかった職員への救済策として、音声テープやDVDの使用により、広く参加体制を作って行きたい。

手術または侵襲のある検査に必要な、説明書の入院記録への添付に関して、2009年は90%を超える添付率でした。11月は医療機能評価の影響か、98%と高い結果が出た。数年前からインフォームドコンセントの重要性が言われていたが、当院においても最近説明に関する不満の訴えがある。コミュニケーションが取れているという医療者側の思い込みから、説明が不足しているとの訴えが聞かれる。説明したではなく、理解し同意しているかが重要である。時間の制約もあり難しい事を承知しても、説明をして理解を得る事はトラブルの発生を防ぐ事が出来ます。トラブルとなると、精神的負担と、時間も多く必要となります。毎回トラブルの発生時に患者さん側から言われる事は、以前もそうだった。こんな事もあったのである。毎日の医療の中での、私たちの姿勢が他の医療者にも大きく影響しています。

医療機能評価があり、諸規程の見直しが必要となり整備を行う事とした。医療事故検討委員会は当院ではあるが、医療事故対策委員会は無く、設置が望ましい。アクシデント(レベル5)の中を分析し、正しく評価する事が対策の一步となる。院外の有識者や、一般市民の参加が基本な為人選が難しい。今後の検討課題とする。

2009年はレベル5が3件、レベル4bが1件、レベル4aが1件、レベル3aが9件・レベル3bが15件であり。アクシデントの総数が39件と昨年より増強している。報告件数は、2008年は1063件、2009年は1137件と報告内容は増加しているが、看護部の報告が増加している。他の部署では変化は見られない。インシデント報告システムを導入して2年目であるが、未だに操作方法が解らない職員もいて、職員への周知の難しさを感じます。部会での積極的な取り組みを実施していきます。また、レベル5について今年は3回の事故検討委員会を開催しました。各部署の方で委員を構成していますが、発言が少なく、積極的に参加できるような会議の進行を考えていきたい。内容として、当事者と事故の原因究明を行い、対応策を整理して、今後の再発防止検討する会議の目的に沿って行なわれている。

当院のデータとしてはレベル4・5のものが2006年は0.7%で、2007年は1.1%と増加している。2008年は0.3%となった。2009年は0.4%で12月に3件と集中している。原因としては明らかなものは無く、診療部に集中している。報告があり対策を立案しフィードバックしているが、評価の部分ではまだまだ対策が実施されていない事が解る。フィードバックが不十分であるのと、評価・分析が不足しています。2010年は、小さなものから一つ一つ対策をたて、フィードバックして、評価をし、分析再度対策とつなげていきたい。院内巡回を実施し対策の評価をしているが、巡回のフィードバックが不十分です。今後は、巡回部署に医療安全管理部として書面での報告を行い、改善内容の

2010年は、病院診療体制のITがオーダーリングから電子カルテシステムに変更となる。IT化が進む事により、患者認証システム・情報の共有・システムの導入による業務の標準化が図られ、医療事故防止に大きな対策となるチャンスです。積極的にシステム導入に参加し、院内各部署の理解と協力を得て、医療安全に向けての取り組みを行なっていきたい。

2009年報告書数(レベル・インシデント内容)

影響レベル	レベル0a	レベル0b	レベル1	レベル2	レベル3a	レベル3b	レベル4a	レベル4b	レベル5	その他	件数
指示・情報伝達	19	2	78	16	0	0	0	0	0	2	117
処方・与薬	39	8	141	69	2	0	0	0	0	9	268
調剤・薬剤管理	14	0	10	3	0	0	0	0	0	8	35
輸血	1	0	2	1	0	0	0	0	0	1	5
治療・処置	10	5	31	5	2	2	0	0	2	4	61
医療機器等の使用・管理	15	8	22	11	0	0	0	0	0	4	60
ドレーン・チューブ類の使用・管理	4	4	107	93	3	2	0	0	0	1	214
検査	14	8	72	8	3	0	0	0	1	1	107
療養上の世話	1	1	19	6	1	1	0	0	0	0	29
給食・栄養	2	0	8	4	0	0	0	0	0	0	14
その他療養上の世話	4	1	124	26	3	3	1	1	0	2	165
その他の場面	3	2	25	2	1	1	0	0	0	28	62
件数	126	39	639	244	15	9	1	1	3	60	1137

2009年報告書数(レベル・部署)

影響レベル	レベル0a	レベル0b	レベル1	レベル2	レベル3a	レベル3b	レベル4a	レベル4b	レベル5	その他	件数
診療部	7	0	8	4	4	1	0	0	3	6	33
看護部	97	30	580	238	11	8	1	1	0	51	1017
薬剤部	9	0	4	0	0	0	0	0	0	0	13
医療技術部	11	9	46	2	0	0	0	0	0	1	69
事務部	2	0	1	0	0	0	0	0	0	2	5
件数	126	39	639	244	15	9	1	1	3	60	1137

